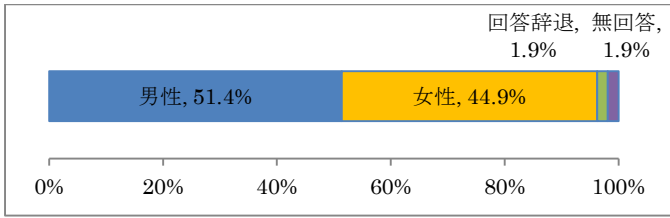
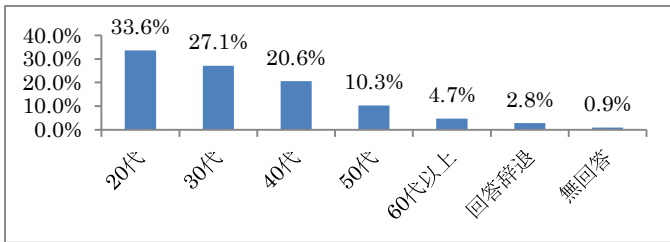


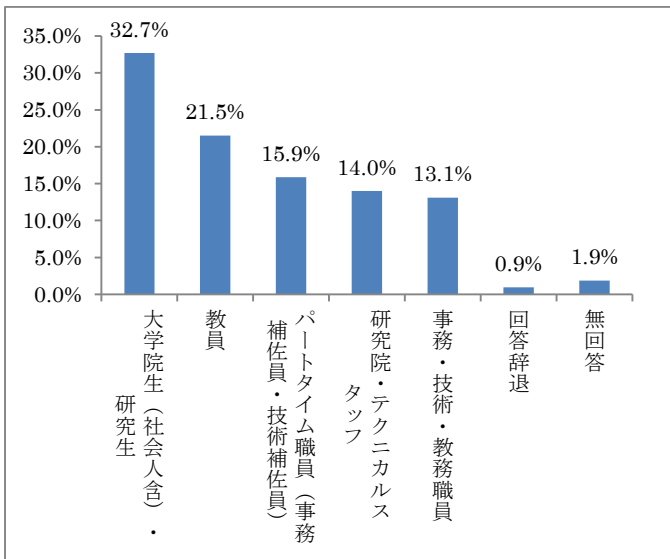
I - (1) 性別



I - (2) 年齢



I - (3) 職種



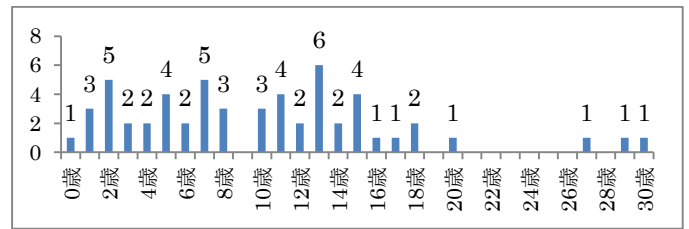
I - (4) -1 同居家族 配偶者

	いる	無回答	合計
度数	47	60	107
%	43.9%	56.1%	100.0%

I - (4) -2 同居家族 子ども

	いる	無回答	合計
度数	33	74	107
%	30.8%	69.2%	100.0%

I - (4) -2 同居家族 子ども 年齢



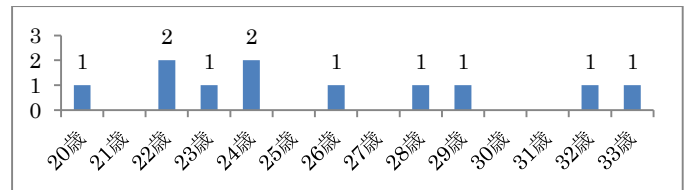
I - (4) -1 別居家族 配偶者

	いる	無回答	合計
度数	6	101	107
%	5.6%	94.4%	100.0%

I - (4) -2 別居家族 子ども

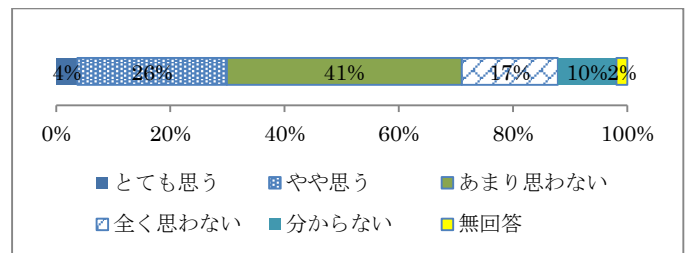
	いる	無回答	合計
度数	5	98	103
%	4.9%	95.1%	100.0%

I - (4) -2 別居家族 子ども 年齢



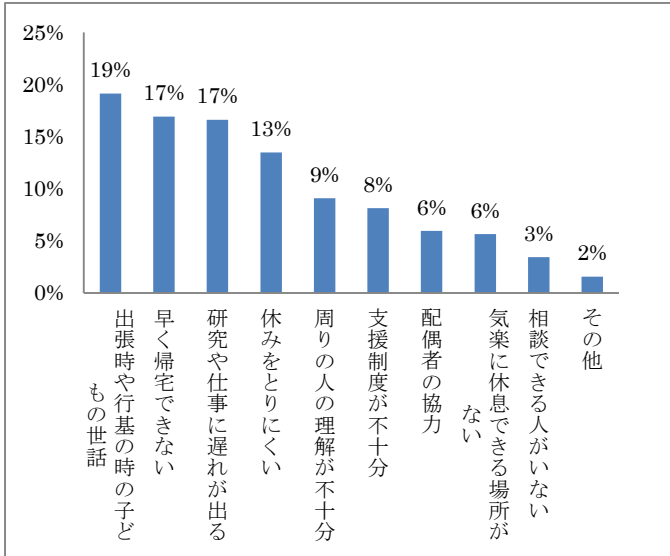
II - (5) 両立環境

「あなたは、ご自身や周囲の人が出産育児と研究・仕事が両立しやすい状況にあるとおもいますか」
 (差の検定：カイ 2 乗検定 0.1%水準で有意)



II - (6) 両立の際の問題

「ご自身や周囲の人が出産育児と研究・仕事を両立させる際、どんな問題があると思いますか（複数回答可）」

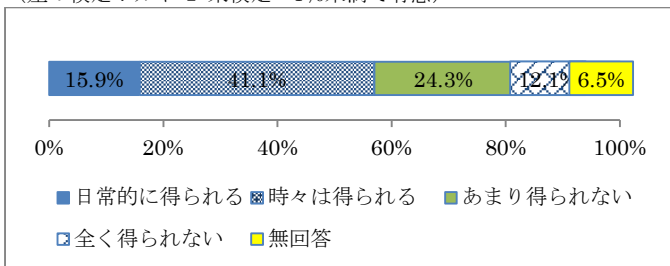


職種別、男女別については、最後の別表を参照してください。

II - (7) 親類の支援

「あなたや周囲の人は、両親・親族等の育児支援（出張時や病気の時の子守など）を得られます（した）か（将来、期待できる場合も含めて）」

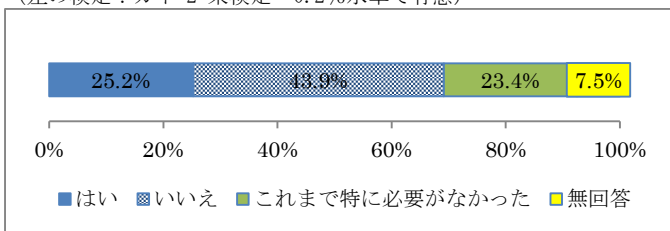
（差の検定：カイ 2 乗検定 1%未満で有意）



II - (8) 保育施設利用

「あなたは、保育施設を使用しています（した）か。」

（差の検定：カイ 2 乗検定 0.2%水準で有意）



II - (8) -A 「どんな保育施設ですか（複数回答可）。」

	学内保育園	学外認可保育園	学外認可外保育園	延長保育付き幼稚園	その他	合計
度数	3	16	6	6	1	32
%	9.4%	50.0%	18.8%	18.8%	3.1%	100.0%

II - (8) -B 要望・意見

学内保育園は利用料金が高額で利用できない。
兄弟が同じ保育園に入れなかったのが、余裕を持った体制にして欲しい。病児保育への対応をしてほしい。
子供はうす暗くなると（18時以降）心理的に不安になり、空腹にもなる。子供の側からみたお迎えの時間の限度があることを、職場の周囲の人々が想像できていない。
自宅から歩いて5分のところにあり便利
朝の受付時間のスタートが7時からだが、30分繰り上げたら早出勤時に大変助かる。

II - (9) 育児支援

「育児中の方でない育児経験者にお尋ねします。以下の育児支援サービスを利用したことがありますか。」

	研究補助者措置制度	病児保育	自治体のファミリーサポート	ベビーシッター	学童保育	その他	合計
度数	3	5	6	3	13	3	33
%	9.1%	15.2%	18.2%	9.1%	39.4%	9.1%	100.0%

II - (9) 育児支援 その他内容

ない
区の支援

II - (9) -A 要望・意見

スタッフの質が悪かった（学童保育）
学童保育は、職場の就業時間前までなので、提示退勤しても、留守番させる時間が長い。（自治体のファミリーサポート、学童保育）
見知らぬ人が自宅に入るベビーシッターには、防犯上抵抗がある。職場近く、又は研究室で短時間でも、見守ってくれる人がいれば、病児保育を乗り切ることができた。（自治体のファミリーサポート、学童保育）
仕事場の近くに是非作って欲しい（学童保育）
男性教員に対してハンドインハンドが適用されていない。（ベビーシッターでも助かる）
病児保育サービス施設を増やして欲しい。（学童保育）
病児保育を大学に手配してほしい（ハンドインハンド、自治体のファミリーサポート、ベビーシッター、学童保育）

II - (10) 育児休業制度利用

「あなたは、育児休業制度を利用したことがありますか。」

（差の検定：カイ 2 乗検定 1%未満で有意）

	はい	いいえ	これまで特に必要がなかった	合計
度数	7	38	27	72
%	10%	53%	38%	100%

II - (10) -A 休業期間

	1.5か月	6か月	10か月	13か月	17か月	合計
度数	1	2	1	1	1	6
%	17%	33%	17%	17%	17%	100%
平均	8.9ヶ月					

職種別育児休業取得率

		はい	いいえ	これまで特に必要がなかった	合計
教員 (差の検定: χ^2 有意 $p < 0.01$)	男性	0.00%	75.00%	25.00%	100.00%
	女性	50.00%	50.00%	0.00%	100.00%
	合計	9.10%	63.60%	27.30%	100.00%
事務・技術・教務職員	男性	0.00%	37.50%	62.50%	100.00%
	女性	40.00%	20.00%	40.00%	100.00%
	合計	15.40%	30.80%	53.80%	100.00%
パートタイム職員 (事務補佐員・技術補佐員)	男性	0.00%	100.00%	0.00%	100.00%
	女性	13.30%	53.30%	33.30%	100.00%
	合計	12.50%	56.30%	31.30%	100.00%
研究員・テクニカルスタッフ	男性		62.50%	37.50%	100.00%
	女性		28.60%	71.40%	100.00%
	合計		46.70%	53.30%	100.00%

	保育特別休暇	子の看護特別休暇	部分休業制度改善	その他	合計
度数	17	18	12	6	53
%	32%	34%	23%	11%	100%

II - (13) -A その他内容

業務内容に配慮があれば、もっと制度を利用できたかも
周りの方の意識改革
周囲の協力的な意識がもっと必要だと思う。
周囲の理解と協力、周囲に負担がかからないようにする等を含めた制度づくり、雰囲気づくり
小学校の子どもをもつ職員の看護特別休暇
男性が育児に協力できるような制度改善

II - (14) 学内保育あったらよいか

(差の検定: カイ 2 乗検定 1%未満で有意)

	はい	いいえ	その他	無回答
度数	89	11	5	2
%	83%	10%	5%	2%

II - (15) 学内保育利用

「現在もしくは将来、育児を(予定)している方にお尋ねします。大橋キャンパス学内保育施設があったら利用しますか。」

(差の検定: カイ 2 乗検定 1%未満で有意)

	はい	いいえ	その他	無回答	合計
度数	41	15	9	42	107
%	38%	14%	8%	39%	100%
	はい	いいえ	その他	合計	
%	43%	23%	14%	100%	

II - (15) -A 利用しない理由

自宅から遠い	5
そのときに在籍・在職していないから	3
妻が専業主婦だから	1
認可に入れなかったら利用するが	2
休業制度の改善や周囲の理解の醸成を優先すべき	1

II - (16) 学生の妊娠出産経験

「教員の方にお尋ねします。過去10年間ほどの間に、あなたの研究室に所属する学生・研究員で、本人もしくは配偶者が、妊娠や出産を経験したことはありますか。」

全回答	はい	いいえ	無回答	合計
度数	13	16	78	107
%	12%	15%	73%	100%
有効回答のみ(対象者)	はい	いいえ	合計	
%	45%	55%	100%	

II - (16) はい 人数

	1人	2人	4人	合計	学生の合計人数
度数	7	3	1	11	17
%	64%	27%	9%	100%	

II - (11) 介護休業制度利用

「あなたは、介護休業制度を利用したことがありますか。」

(差の検定: カイ 2 乗検定 1%未満で有意)

	はい	いいえ	これまで特に必要がなかった	合計
度数	1	38	32	71
%	1%	54%	45%	100%

II - (11) -A 休業期間 2ヶ月 (1件)

II - (12) 部分休業制度利用

「あなたは、部分休業制度を利用したことがありますか。」

(差の検定: カイ 2 乗検定 1%未満で有意)

	はい	いいえ	これまで特に必要がなかった	合計
度数	1	43	27	71
%	1%	61%	38%	100%

II - (12) -A 休業期間

始業・就業の時間短縮 (1件)

II - (13) 育児・介護休業の利用のしやすさ

「あなたや周囲の人にとって、現在の育児休業制度や部分休業制度は利用しやすいと思いますか。」

	とても思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない	分からない	合計
度数	5	12	26	4	31	78
%	6%	15%	33%	5%	40%	100%

II - (13) -A 現行制度の改善や代替の希望

「(II - (13) で3.あまり思わない 4.全く思わない と答えた方のみお答えください。) 希望する項目に○を付けてください(複数回答可)。」